



平成 28 年 5 月 30 日

### 2016 年度 九州・山口地区の新入社員意識調査アンケート結果 ～ 安定志向 ～

西日本シティ銀行グループの NCB リサーチ&コンサルティングは、毎年新入社員を対象とした公開セミナー及び企業内研修を実施しています。今般、本年度のセミナー及び研修に参加いただいた、九州・山口地区の新入社員を対象とした意識調査アンケートの結果がまとまりましたので、概要をお知らせします。

#### 【 アンケート結果概要 】

今回のアンケート結果では、新入社員は真面目で我慢強い反面、自分で考えチャレンジすることは苦手であることが分かります。就職先の選択や働き方、働く目的などからは、現実的で安定志向であることがうかがわれます。

給料と残業に対する考え方では「給料は少なくとも、残業がない方がよい」と答えた人が 55.1% と 4 年連続で増加しており、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を重視する傾向がますます強まっています。

1. 就職活動は「とても大変だった」が 17.1%、「大変だった」が 57.4%、「思っていたほど大変ではなかった」が 22.2%、「その他」が 3.3%という結果でした。
2. 就職先を決める時に重視したことは、「会社の雰囲気・イメージ」が 42.0%で最も多く、次いで「業種・事業内容」の 41.7%、「仕事にやりがいがある」の 40.5%という結果でした。
3. 働く目的は、「生活の安定」が 72.8%で最も多く、次いで「自己成長」の 55.0%、「お金が稼げる」の 45.7%という結果でした。

詳細は添付の資料をご参照下さい。

#### 【お問い合わせ先】

NCB リサーチ&コンサルティング 調査部 担当：原  
〒812-0027 福岡市博多区下川端町 2 番 1 号 博多座・西銀ビル 13 階  
電話：092-282-2662

## 調査概要

### 1. 調査の目的

- 職業等に関する新入社員の意識状況を調査し、傾向を把握すること

### 2. 調査期間

- 平成 28 年 3 月 18 日～4 月 20 日

### 3. 調査対象

- 平成 28 年春の新入社員で、当社の新入社員公開セミナーおよび企業内研修の参加者

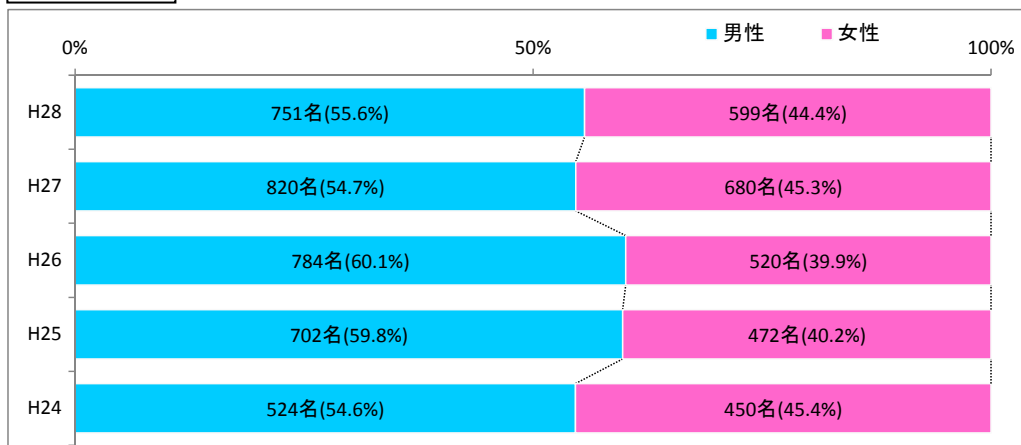
対象：1,426 名（310 社） 回収：1,350 名 回収率：94.7%

開催地

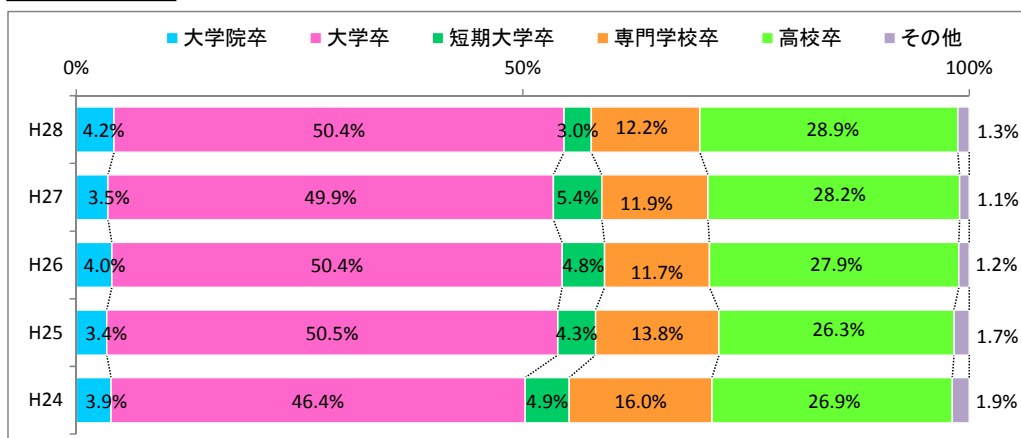
公開セミナー（26 コース）：福岡市、北九州市、久留米市、飯塚市、長崎市、熊本市、宮崎市、大分市

企業内研修（9 コース）：福岡市、朝倉市、鹿島市、別府市、下関市

#### 性別



#### 最終学歴



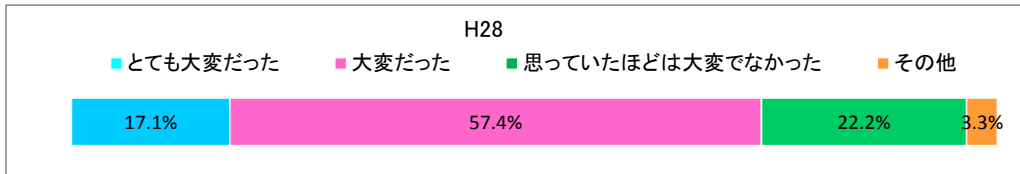
### 4. 調査方法

- アンケート用紙の配布・回収（新入社員公開セミナー・企業内研修実施時）

## 【アンケート結果】

### 1. 就職活動はどうでしたか（1つ選択）【新設問】

全体では「とても大変だった」が17.1%、「大変だった」が57.4%、「思っていたほど大変ではなかった」が22.2%、「その他」が3.3%という結果であった。

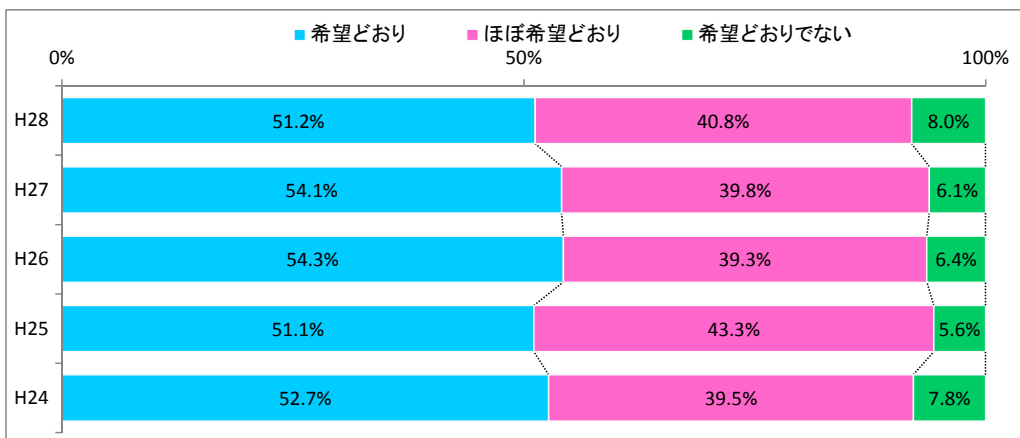


#### 【コメント】

売り手市場と言われているが、「とても大変だった」、「大変だった」の合計が70%を超えており、就職活動の実感としては厳しかったと感じていることがうかがわれる。

### 2. 希望している会社に就職できましたか（1つ選択）

全体では「希望どおり」が51.2%、「ほぼ希望どおり」が40.8%で、あわせて92.0%という結果であった。昨年との比較では、「希望どおり」は2.9ポイント減少、「ほぼ希望どおり」は1.0ポイント増加、「希望どおりでない」は1.9ポイント増加した。

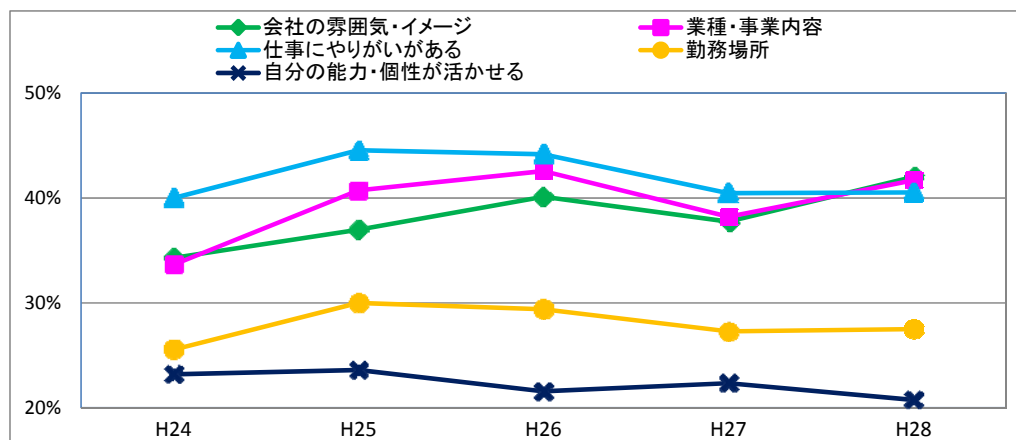


#### 【コメント】

売り手市場のなか、「希望どおり」が2.9ポイント減少し、「希望どおりでない」が1.9ポイント増加しており、就職先に対する要求も高くなっていることがうかがわれる。

### 3. 就職先を決める時、重視したものは何ですか（3つまで選択）

全体では「会社の雰囲気・イメージ」が42.0%で最も多く、次いで「業種・事業内容」の41.7%、「仕事にやりがいがある」の40.5%という結果であった。昨年との比較では、「会社の雰囲気・イメージ」の4.3ポイント増加、「業種・事業内容」の3.5ポイントの増加が目立っている。

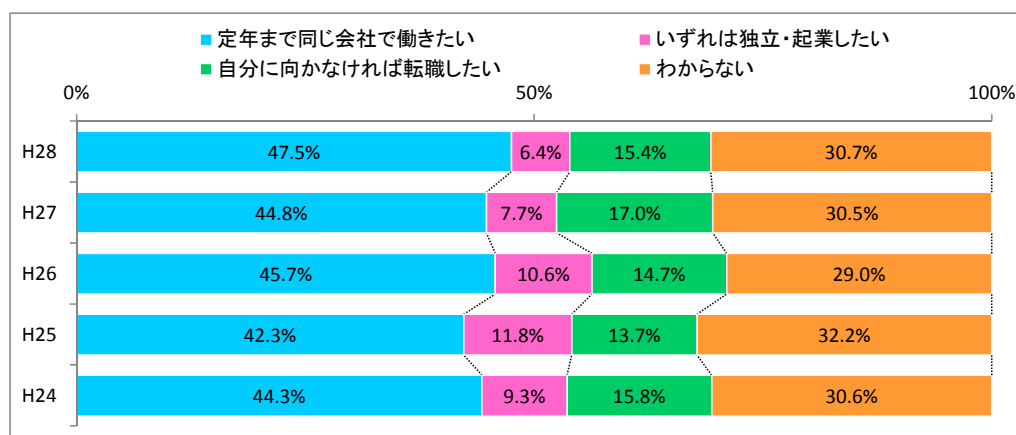


#### 【コメント】

4年連続トップであった「仕事にやりがいがある」を「会社の雰囲気・イメージ」、「業種・事業内容」が上回った。本質的なことより、表面的なことで就職先を決める傾向が強まっていることがうかがわれる。

### 4. 就職した会社で定年まで働きたいと思いますか（1つ選択）

全体では「定年まで同じ会社で働きたい」が47.5%で最も多く、次いで「わからない」の30.7%、「自分に向かなければ転職したい」の15.4%、「いずれは独立・起業したい」の6.4%という結果であった。昨年との比較では、「定年まで同じ会社で働きたい」が2.7ポイント増加、「わからない」が0.2ポイント増加、「自分に向かなければ転職したい」が1.6ポイント減少、「いずれは独立・起業したい」が1.3ポイント減少した。

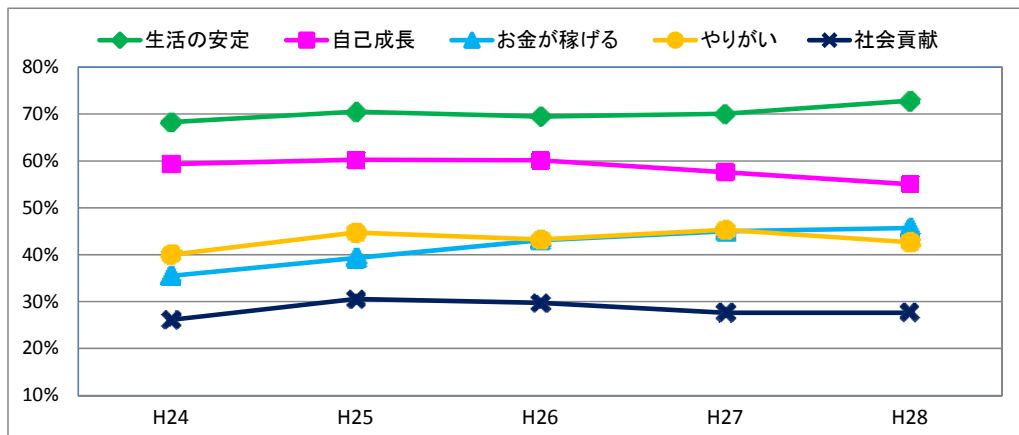


#### 【コメント】

「定年まで同じ会社で働きたい」が過去最高となった一方、「いずれは独立・起業したい」、「自分に向かなければ転職したい」との回答は減少しており、安定志向がうかがわれる。

## 5. あなたにとって働く目的は何ですか（3つまで選択）

全体では「生活の安定」が72.8%で最も多く、次いで「自己成長」の55.0%、「お金が稼げる」の45.7%という結果であった。昨年との比較では、「生活の安定」の2.7ポイント増加、「自己成長」および「やりがい」の2.6ポイント減少が目立っている。



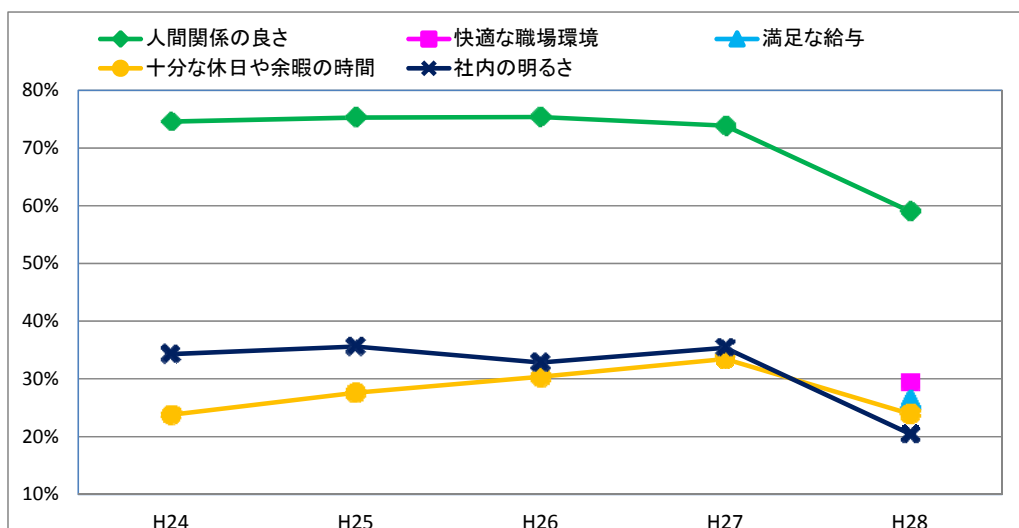
### 【コメント】

「生活の安定」が過去最高となる一方、「自己成長」は減少しており、現実志向で安定を求める傾向がうかがわれる。

## 6. あなたが会社に求めるものは何ですか（2つまで選択）

全体では「人間関係の良さ」が59.0%で最も多く、次いで「快適な職場環境」の29.5%、「満足な給与」の26.3%、「十分な休日や余暇の時間」の23.9%という結果であった。

【注：本年度より選択肢に「満足な給与」、「公平な評価」、「快適な職場環境」を追加】

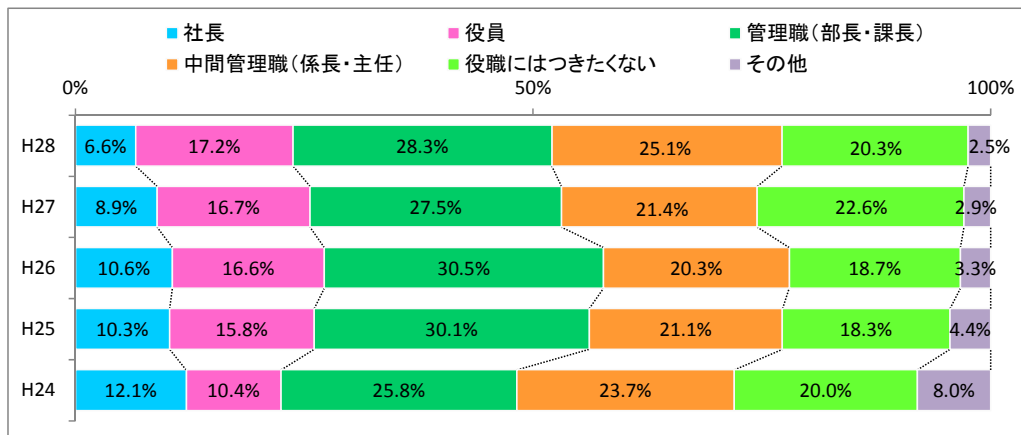


### 【コメント】

本年度より選択肢に追加した、「快適な職場環境」、「満足な給与」が2位、3位となっており、現実面を重視する傾向がうかがわれる。

## 7. 将来、どのポジションに就きたいですか（1つ選択）

全体では「管理職（部長・課長）」が 28.3%で最も多く、次いで「中間管理職（係長・主任）」の 25.1%、「役職にはつきたくない」の 20.3%という結果であった。昨年との比較では、「社長」の 2.3 ポイント減少、「中間管理職」の 3.7 ポイント増加が目立っている。

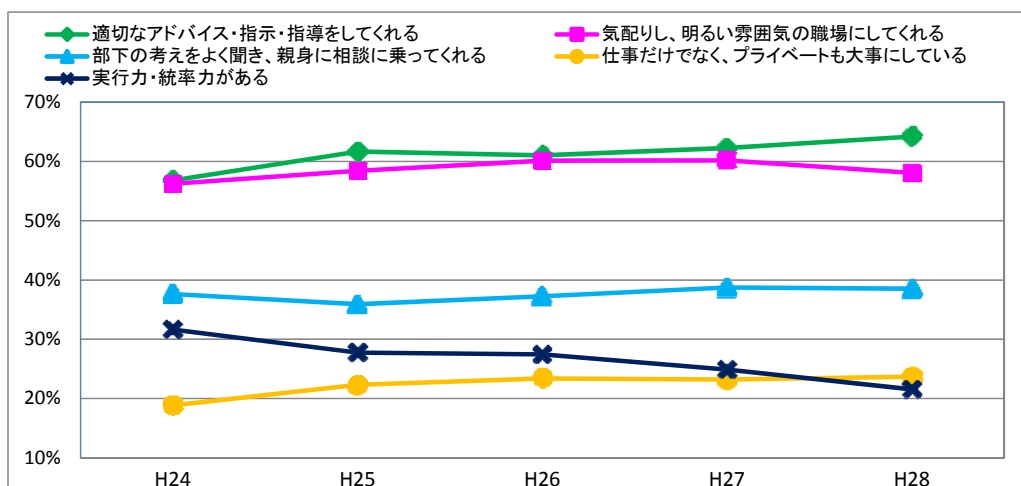


### 【コメント】

将来のポジションとして管理職以上を希望する割合は、全体では 52.1%と、2年連続減少している。「中間管理職」は 25.1%で過去最高となっており、出世はほどほどでよいと考える傾向がうかがわれる。

## 8. あなたにとって理想の上司に近いものはどれですか（3つまで選択）

全体では「適切なアドバイス・指示・指導をしてくれる」が 64.2%で最も多く、次いで「気配りし、明るい雰囲気職場にしてくれる」の 58.1%、「部下の考えをよく聞き、親身に相談に乗ってくれる」の 38.5%という結果であった。昨年との比較では、「適切なアドバイス・指示・指導をしてくれる」の 1.9 ポイントの増加、「実行力・統率力がある」の 3.3 ポイントの減少が目立っている。



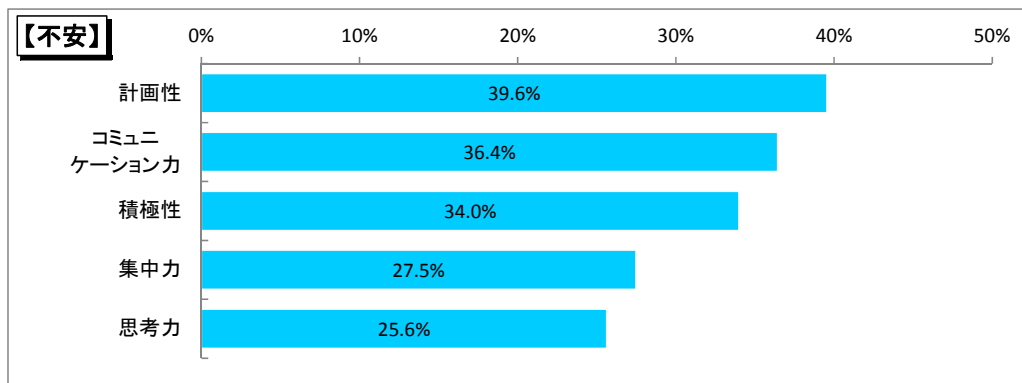
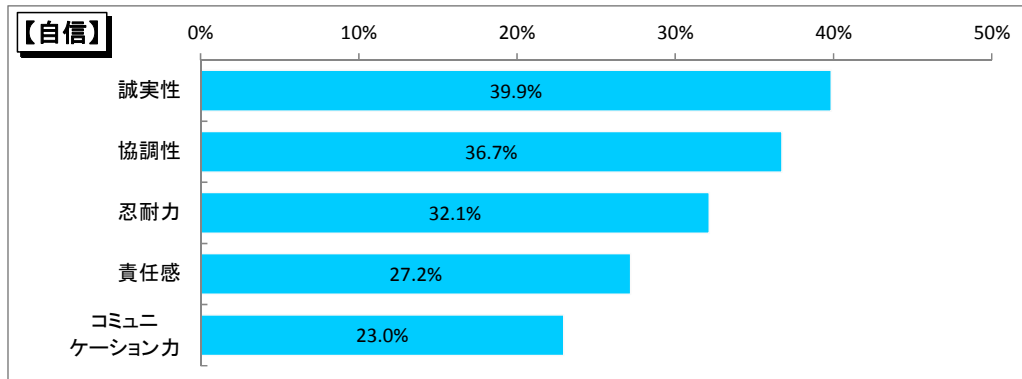
### 【コメント】

知識やスキル不足、コミュニケーション能力不足を自覚しており、力強く引っ張ってくれる上司よりも、きめ細やかな指導、気配りのできる上司を求める傾向が続いている。

9. 今、あなたにとって自信があること、また不安なことは何ですか（それぞれ3つまで選択）

**【新設問】**

全体では、自信があることは「誠実性」が39.9%で最も多く、次いで「協調性」の36.7%、「忍耐力」の32.1%という結果であった。不安なことは「計画性」が39.6%で最も多く、次いで「コミュニケーション力」の36.4%、「積極性」の34.0%という結果であった。

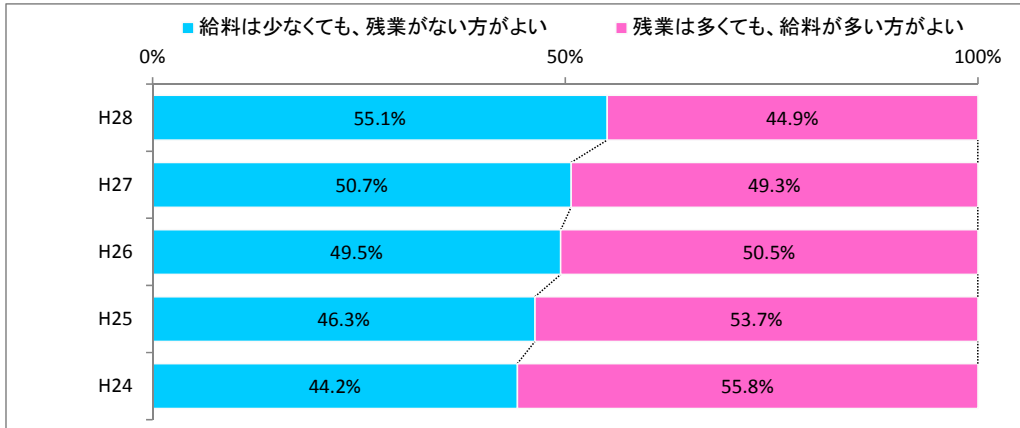


**【コメント】**

項目ごとに「自信」－「不安」を計算すると、プラス幅が大きいのは「誠実性」の35.8%、「協調性」の27.0%、「忍耐力」の15.7%、一方マイナス幅が大きいのは「計画性」の▲31.1%、「積極性」の▲18.1%、「思考力」の▲11.5%という結果であった。人と合わせるのは得意だが、自分で考えチャレンジするのは苦手との意識がうかがわれる。

## 10. 給料と残業に対するあなたの考え方はどちらですか（1つ選択）

全体では「給料は少なくとも、残業がない方がよい」が55.1%、「残業は多くても、給料が多い方がよい」が44.9%であった。最終学歴別では「残業は多くても、給料が多い方がよい」との回答が多かったは高校卒 55.7%のみで、大学院卒、大学卒、短大卒、専門学校卒は「給料は少なくとも、残業がない方がよい」がそれぞれ50.9%、61.6%、68.3%、51.8%であった。「給料は少なくとも、残業がない方がよい」が昨年より4.4ポイント増加し過去最高を更新。

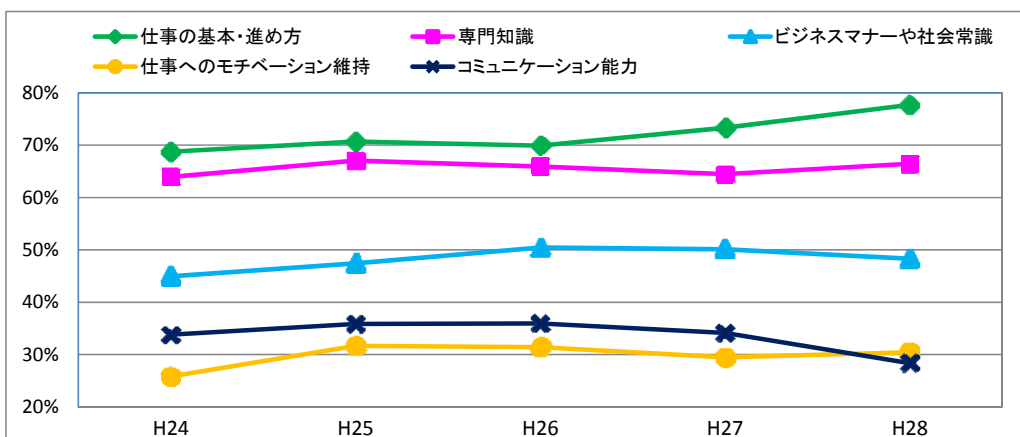


### 【コメント】

年々「給料は少なくとも、残業のない方がよい」が増加しており、ワーク・ライフ・バランスを重視する傾向が顕著である。

## 11. 入社後、指導・教育してもらいたいことは何ですか（3つまで選択）

全体では「仕事の基本・進め方」が77.7%で最も多く、次いで「専門知識」の66.4%、「ビジネスマナーや社会常識」の48.3%という結果であった。昨年との比較では、「仕事の基本・進め方」の4.4ポイントの増加、「コミュニケーション能力」の3.7ポイントの減少が目立っている。



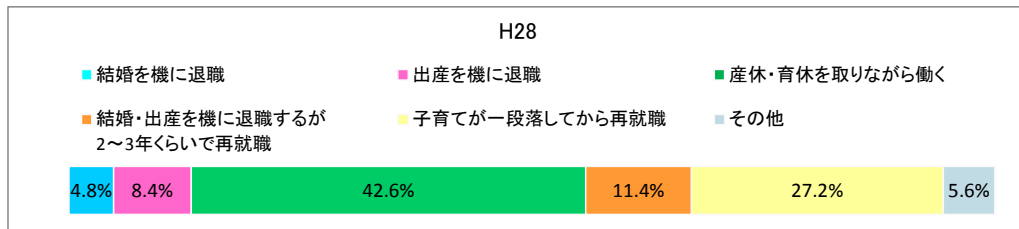
### 【コメント】

「仕事の基本・進め方」が3.4ポイント、「専門知識」が1.9ポイント増加しており、能力不足を認識し、不安を感じていることがうかがわれる。



12. 仕事をするうえで、結婚、出産は大きな転機となりますが、女性の働き方に対するあなたの考えに近いのはどれですか（1つ選択）【新設問】

全体では「産休・育休を取りながら働く」が42.6%で最も多く、次いで「子育てが一段落してから再就職」の27.2%、「結婚・出産を機に退職するが2～3年ぐらいで再就職」の11.4%という結果であった。男女別では「産休・育休を取りながら働く」との回答が、男性35.4%、女性51.6%という結果であった。



【コメント】

結婚または出産を機に退職するとの回答は、男性14.8%、女性11.3%という結果であった。また、「産休・育休を取りながら働く」や「再就職」するとの回答は、男性77.2%、女性86.1%という結果であった。女性は男性が考えるより、結婚や出産にかかわらず働きたいという意欲が強いことがうかがわれる。

## <最後に>

---

今回のアンケート結果から、新入社員は真面目で我慢強い反面、自分で考えチャレンジすることは苦手であることが分かります。就職先の選択や働き方、働く目的などからは、新入社員が現実的で安定志向であることがうかがわれます。

給料と残業に対する考え方では「給料は少なくても、残業がない方がよい」と答えた人が4年連続で増加しており、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を重視する傾向がますます強まっています。

価値観の形成には、育ってきた環境や経験が大きく影響することを理解する必要もあると思います。今年の新入社員は、いわゆる「ゆとり世代」の中心層であり、現実的な面とともに「ほどほどでよい」との意識も見え隠れするように感じました。

新入社員も、社会人としての能力不足は十分理解しており、上司に対してはきめ細やかな指導や気配りを望んでいます。「指示待ち」の傾向もでてきているようですので、そのあたりを考慮した指導も必要ではないでしょうか。

最後に、女性の活躍推進に向け社会が動くなか、女性は結婚や出産にかかわらず、働きたいとの意欲が強いことが分かりました。少子高齢化の時代、女性活躍に向けた対応も必要だと思います。

新入社員の育成に、本調査結果が一助となれば幸いです。

---

### —ご利用に際して—

- ◇ 本資料は、アンケートに基づき作成しましたが、当社はその正確性を保証するものではありません。
- ◇ 本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- ◇ 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願いいたします。
- ◇ 本資料は、著作権法に基づき保護されています。引用する際は、必ず出所：NCB リサーチ&コンサルティングと明記してください。
- ◇ 本資料の全文または一部を転載・複製する際は当社の許諾が必要です。